

新しい春がスタート 市内各地で入学式

4月6日(月)、市内の小・中・義務教育学校で入学式が行われ、児童824人、生徒841人が新しい門出を迎えました。(写真は川内小学校)

今年は新型コロナウイルスの影響で参加者の縮小や内容短縮などが図られましたが、真新しい制服を身に着けたマスク姿の新生徒らは、元気いっぱい明るい表情で式に参加していました。



また、4月4日(土)には、川内市医師会立看護専門学校で2期生22人が出席し、入学式が行われました。会場内は、新型コロナウイルス対策のため、新生徒の席の間隔を空け、密接を避けた上、開催されました。

生徒らは、看護師という夢に向かってのスタートに誓いを新たにしていました。



その名は甑大橋!

4月10日(金)、本市の中甑島と下甑島を結ぶ県内最長(1,533m)の蘭牟田瀬戸架橋の橋名が、「甑大橋」と決定しました。

公募810件の中から、「簡潔で分かりやすく親しみやすい」、また「『甑』を漢字にすることで、インパクトがあり、甑島を県内外へアピールできる」との理由

で選ばれました。同時に8月29日(土)に開通することが発表され、開通後の甑島では、回遊性や利便性の大幅な向上により、一層の観光振興が図られ、交流人口や移住者が増えることが期待されます。



テイアウト&デリバリー
TAKEOUT & DELIVERY
薩摩川内の美味しいごはんをお家で

○新型コロナウイルス感染症対策の一環として、市内の飲食店などが行っているテイクアウト(お持ち帰り)とデリバリー(出前)の情報を市や薩摩川内観光物産ガイドこころのホームページでご案内しています。

○テイクアウト&デリバリーを行う店舗の情報は随時募集していますので、掲載を希望する事業者の皆さまは、川内商工会議所、薩摩川内市商工会、薩摩川内市飲食業組合、薩摩川内市観光物産協会にお問い合わせください。

▲薩摩川内観光物産ガイドこころHP

甑島の安定的な地域医療を提供するために

3月30日(月)、本市と合同会社ゲネプロによる、地域医療体制構築に関する連携協定調印式が行われました。これは、下甑地域における安定的な医療提供の実現に向けて、医師の安定的確保と医療体制の構築および地域医療環境の向上を図るためのものです。



農作業の労働力をサポートします

4月1日(水)、近年の農業に関する労働力不足解消のため、県内自治体で初となる農作業サポート人材バンクを市役所内に設置しました。今後、農家の農作業労働力確保に向けた取り組みを支援し、農家経営の安定や作業効率向上を図っていきます。



連続タケノコ掘り当てたどおっ!

祁答院町の竹林で、根本がつながった7本のタケノコが見つかりました。掘り当てたのは、同町上手の松ヶ野美朝さん。7本の大小のタケノコが連なる姿は、まるで大家族が1列に並んでいるようですね。



新型コロナ終息を願う「疱瘡踊」

3月28日(土)、入来町の麓上自治公民館で、県指定無形民俗文化財の「入来町の疱瘡踊」が行われました。かつて天然痘が流行した時代に、病が立ち去るよう女性たちが祈願して踊られており、この日は新型コロナウイルス感染の終息へ願いを込めて舞われました。



お世話になりました。国際交流員 趙 静 さん

春は出会いの季節で、別れの季節でもあります。平成31年4月17日に薩摩川内に参りました。時間が経つのは早いです。また春の季節になりました。この一年間で、15代目の国際交流員として、国際交流活動に積極的に参加し、市の皆さまにも中国の文化や事情をお伝えしてきました。いろいろな人と出会ったり、さまざまな日本文化を体験したりして、素晴らしい思い出をたくさん作りました。薩摩川内市の皆さま、誠にありがとうございました。これからも草の根レベルで中日友好交流のために一生懸命努力して、微力ながら両市の懸け橋になれるように頑張りたいと思っています。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。